

事務事業名	文化施設修繕事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課	
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<<教育・文化>>	所属G	文化財・文化振興グループ	課長名	板垣 旭
	施策名	(31)地域文化の振興	担当者名	志賀 崇	電話番号	0854-40-1104 (内線) 4751
	目的:対象	市民	意図	地域文化を正しく理解し、文化財の保護と活用に努めるとともに、文化芸術に親しみ創造する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 2 5 1 0 1 9 社会教育施設管理事業 文化施設修繕事業
	基本事業名	(091)文化芸術の振興	目的:対象	市民	意図	文化芸術活動に親しむ。

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R元 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
老朽化が著しい文化施設(加茂文化ホール・木次経済文化会館・古代鉄歌謡館)の修繕を計画的・効率的に実施する。
・加茂文化ホール H7.3月建築 ・木次経済文化会館 H4.5月建築 ・古代鉄歌謡館 H3.9月建築

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)			
		①修繕工事契約業務 ②修繕工事工程管理 ③協議・指導業務	①修繕工事契約業務 ②修繕工事工程管理 ③協議・指導業務			
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	ア 修繕箇所数	件			5	3
	イ 指導・協議件数	件			50	50
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	① 市民 ② 市外の人	ア 雲南市人口	人			36,248	37,004
		イ 市外人口	人			126,131	125,930
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
①文化芸術、伝統芸能に関する事業を企画し、市民が文化芸術活動に触れる機会の拡充を図る。 ②積極的にイベントの情報発信をすることにより市民の文化活動への理解関心を促す。	ア 文化施設(3施設)利用者数	人			91,998	92,000	
	イ 文化芸術に親しんでる市民の割合	%			42.4	45.0	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
工事請負費 28,743千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
【財源内訳】 地方債:合併特例債(26,500千円)		県支出金	千円				
		地方債	千円			26,500	4,800
		その他	千円				5,000
		一般財源	千円			2,243	323
	事業費計(A)	千円			28,743	10,123	
人件費	正規職員従事人数	人			2		
	延べ業務時間	時間			200		
	人件費計(B)	千円			848		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			29,591		

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
加茂文化ホール管理運営事業・木次経済文化会館管理運営事業・古代鉄歌謡館管理運営事業でそれぞれ実施してきた修繕業務を、令和元年度より本事業に一本化。	市内にある3つの文化施設はいずれも築25年以上を経過し老朽化が著しく、近年、故障が多発していた。また、耐用年数を越えた機器や交換部品等がないものも多く、計画的・効率的な修繕方法を模索している。	市民・指定管理者等から、施設の老朽化を指摘する声や多くの修繕要望が寄せられている。

事務事業名	文化施設修繕事業	所属部	教育委員会	所属課	文化財課
-------	----------	-----	-------	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	予算の範囲内で、最大限の修繕工事を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	計画的な修繕を実施しない場合は、施設の利用ができなくなる恐れがある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		類似事業はない。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		工法の検討などにより、事業費を削減できる余地はある。
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		施設の運営を円滑に進めるために指定管理者および施工業者等との綿密な協議は必須であり、人件費削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		受益者は全市民であり、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり
指定管理者等と協議を実施し、優先度の高いものから修繕を実施した。 【令和元年度実施内容】 ラメール/トイレ改修、スタジオ303空調機器更新 チェリヴァホール/共有ロビーダウンライト更新、3階大会議室シャンデリア更新、屋上修繕				

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
・計画的な修繕の実施 【課題】 ・大規模改修に向けた多額の経費の確保 ・文化施設の統廃合の検討	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		